

第九回「花と緑の俳句大会」

テーマは「花と緑」 あなたの身近にある風景を詠んでみませんか？

【区分】

一般の部（高校生含む） 一人二句まで
小・中学生の部 一人一句

【投句テーマ】 花と緑（季節は問いません）

【投句料】 無料

【応募方法】

①ハガキ ②FAX ③メール いずれかの方法で一人一回。
②・③で応募の場合はホームページに様式を掲載しています。
「ホームページ」 <http://www.greenbank.or.jp>

▼作品は本人が創作した未発表のものに限ります。

▼応募の際には、郵便番号 住所 氏名 年齢 電話番号 を
作品と同じ面にお書きください。

▼小中学生の部は、学校単位でまとめて応募できます。

【応募先】

宛先 （公財）静岡県グリーンバンク 「俳句」係

①住 所：〒422000853

静岡県葵区追手町四十四番の一 静岡県産業経済会館七階

②FAX：054・255・6495

③メールアドレス：green-bank@greenbank.or.jp

【結果発表】

優秀作品は、グリーンバンクだより第六十七号（平成二十七年三月発行）の誌面やグリーンバンクのホームページに掲載いたします。掲載された方には、薄謝を差し上げます。

【個人情報について】

投句に関わる個人情報は、（公財）静岡県グリーンバンクで管理し、グリーンバンクだより・または粗品の発送に限って使用させていただきます。



グリーンバンクシンボルマーク

『みどりちゃん』

募集期間：平成26年9月1日～11月30日まで



昨年度の

「花と緑の一句」



優秀作品

(応募総数 二, 四二一句)

選者 東 良子 先生

(俳人協会静岡県支部常任幹事)

小中学生の部

【特選】

はざくらの上からけむしがこんには



磐田市 江口 千果 (小2)

「はざくら」は、さくらの花が散って若葉が
出始めた夏の季語ですね。

「けむし」も夏の季語で蝶や蛾の幼虫です。毛虫は植物の葉や茎を食べてしまうので駆除されます。けれど作者はまだ小学2年生。毛虫をお友達のように、親しみを込めて「こんには」とご挨拶しています。きつと、大人になっても蝶や虫達に優しい人になるでしょう。素敵ですね。

川の音ザーザーと夏の音



磐田市 中島 大輔 (小4)

「川の音ザーザー」と、しっかり聞こえてきます。「夏の音」を一言で表現していま

す。作者は川遊びの好きな少年でしょうか。

少年達が思う存分川遊びに夢中になっているのではないのでしょうか。澄んだ水に泳ぐ魚を見ついたり、水中眼鏡の世界を楽しんだり、自然界でとびきり楽しい溪川での夏休み。豊かな水音に心が洗われるような、新鮮な感性が魅力的です。

ひがん花炎メラメラ燃えている

磐田市 安藤 嵩人 (小5)

「ひがん花」は、秋の彼岸の頃に、畠の傍らや、堤防、墓地などに群生する多年草です。真っ直ぐに花茎を伸ばして、真っ赤な「炎」のような花を開きます。葉は花が終わってから出てきますから、花だけが一面に咲き広がって鮮やかに見えます。「メラメラ燃えている」とは、実感ですね。「彼岸花」の別名は、沢山ありますが、「曼珠沙華」がよく詠まれます。

春の川ざわざわ騒ぐ石と石

東伊豆町 山田 龍希 (中1)

作者の「春の川」は、春の小川はさらさら行くよ。と、童謡に歌われた静かな小川ではありませんね。勢いがあり、「石と石」が、ぶつかりあって「ざわざわ騒いで」いるのですね。長い冬の間、雪の下に隠れて静かだった山間の川。雪解けと同時に溢れるように流れ出したのでしょうか。雪国でも一斉に林中や土手に、フキノトウが顔を出して、本格的な春

の訪れを告げます。

向日葵を見上げるぼくはただの蟻

静岡市 朝比奈 恵 (中3)

「向日葵」は夏の花の中の一番人気で、小学生から中学生まで、毎年沢山の作品があり選ぶのに困る程です。作者は中学3年生。選者の私には学年だけが解るのですが、自身と「向日葵」との対比、「僕はただの蟻」の表現が素晴らしいと思いました。「向日葵」は、天を指してぐんぐん伸び、太陽とも天の神とも思えます。「向日葵を見上げて」と、自分自身がふと、とても小さく思えたのですね。今から真っ直ぐに伸びる、作者の道を信じています。

一般の部

【特選】

三姉妹還暦過ぎし桃の花

富士市 小山 定子 (66)

富士負うて羽衣の松色変えず

磐田市 太田 和志 (67)

盲導犬人込み縫ふて花の駅

熱海市 西島 緑 (88)

